

「英会話 Spring Challenge! ～listening & speaking～」

東京オリンピックで海外からのお客様がますます増える2020年。道を聞かれたり、お店で出会う人と簡単な会話が自然にできれば。そんな気持ちに添って、発話と聞くことを集中して行います。

Day1 3/17(火) Day2 3/31(火) Day3 4/14(火) Day4 4/28(火)

目標

海外からの方との簡単な会話にもコツがあります。ネイティブの発音とリズムで「こんな時の一言は、こんな単語、フレーズで」を学び、発話できるようトレーニングします。

テーマ

Day1 日本食を楽しむ
Day2 日本の交通機関 電車を利用する
Day3 東京を観光する
Day4 日本の夏を花火、浴衣で堪能する

開催概要

定員: 16名 回数: 4回
時間: 13:30~15:00
教材: 講師より配布いたします
受講料: 10,000円 4回一括のみ

講師

まえだ くみ
前田 久美 英語講師

愛知県出身。インターナショナルスクール高校課程卒業後、Boise State University(アメリカ アイダホ州)で Business Administrationを専攻。卒業後日本の大手企業で英語力を生かし勤務。その後英語講師に。以来25年以上英語教育に携わる。大学、大手企業で英会話、TOEIC対策、ビジネス英会話などのクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導を行っている。

同志社講座2020春学期 お申込み受付中

WEB 同志社大学東京オフィス 検索 同志社大学東京オフィスサイトのお申込みフォームをご利用ください。

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/>

FAX 03-6228-7262
同封の申込み用紙に必要事項を記入し、FAXをお送りください。

窓口 同志社大学東京オフィスで直接お申込みができます。
同封の申込み用紙に必要事項を記入し、受付にお出してください。
受付時間 平日9:00~17:00

同志社大学 東京オフィス

平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号
京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行)

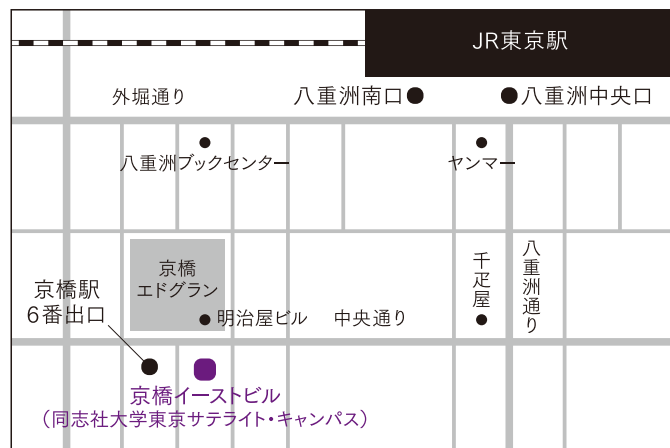
TEL:03-6228-7260

FAX:03-6228-7262

E-mail: ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/>

同志社大学東京オフィス 検索



- JR「東京」駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅7番出口 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口 徒歩1分
- 都営浅草線「宝町」駅 A5~A7出口 徒歩3分

同志社講座 — 2020春学期 —



同志社大学 東京サテライト・キャンパス

Tokyo Satellite Campus, Doshisha University

「グローバル時代を読む ～目指すは経済名探偵～」



講師 濱 矩子
同志社大学大学院
ビジネス研究科 教授

1952年東京生まれ。1975年一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所初代所長兼駐在エコノミスト。1998年三菱総合研究所主席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」。経済動向に関するコメンテーターとして内外メディアで執筆。

近著:『小さき者の幸せが守られる経済へ』(新日本出版社/2019) 『「通貨」の正体』(集英社/2019) 『洗脳された日本経済』(日本文芸社/2018) 『ついに始まった日本経済「崩壊」』(SBクリエイティブ/2018) 『窒息死に向かう日本経済』(KADOKAWA/2018) 『自国第一主義という病 リーダーたちが招く破綻のシナリオ』(毎日新聞出版/2018) 他多数

開催概要	定員: 15名 <small>定員を超えるご応募があった場合は抽選で決定します</small>
	回数: 全5回
	時間: 19:00～20:30
	受講料: 50,000円 5回一括のみ
	お支払い: 事前振り込み制 <small>開講が決まり次第、振り込みのご案内を郵送いたします。お振込みが確認できましたら受講票をお送りします。期日までに入金を確認できない場合は受講いただけません。</small>

狙い 東西冷戦の終焉とともに到来したグローバル時代も、はや30年。齢三十といえば、ひとまず大人だ。だが、まだまだ若い。微妙な時期だ。この微妙さの中に、一国主義やポピュリズムという魔物の影がちらつき始めた。この場面をグローバル時代は果たして乗り切れるか。本講座を通じて、グローバル時代の今を読み、これからの謎解きをしていきたいと思います。目指すは経済名探偵!

- 第1回 5/11 月
- 第2回 6/8 月
- 第3回 7/6 月
- 第4回 9/7 月
- 第5回 10/5 月

本講座は、二つの手法を軸に進めていきます。手法その1が「風が吹けば桶屋が儲かる」方式。手法その2がグループワークです。

「風が吹けば、何がどうしてどうなるから「桶屋が儲かる」のか。この謎解きの醍醐味を折々の旬な経済テーマに当てはめてみようというのが、「風が吹けば桶屋が儲かる」方式です。毎回の講座で、次回に向けて講師が受講生の皆さんに予め「風が吹けば」の部分をご提示します。例えば「今、EUが消滅したら」とか「日本が完全な電子現金社会になったら」など。それを受けて、皆さんに「桶屋が儲かる」の部分とそこにいたる「何がどうしてどうなる」の流れを考えて頂くのです。

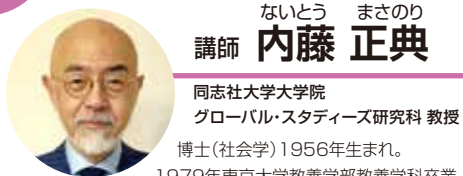
まずは、講座日当日に向けて各自独自にその日のテーマについて「予習」をしておいて頂きます。その上で、講座当日にはグループワーク方式で「何がどうしてどうなって、だからこうなる」という展開シナリオを取りまとめて頂きます。皆さんに2チームに分かれて頂き、前回からの1ヶ月間の予習の成果を共有して頂き、議論を重ねて頂いて、その結果をホワイトボード上に展開図あるいはフローチャート風に描き出して頂きます。この図表に基づいて各チームからプレゼンテーションを行って頂き、質疑を通じてさらに検討を深めます。この段階からの議論には講師も参加させて頂きます。

なお、講座の第5回(最終回)は受講生全員によるスピーチ大会といたします。スピーチのテーマも、毎回のトピックと同様、講師が皆さんにご提示いたします。「風が吹けば桶屋が儲かる」方式で鍛え上げた謎解き力をいかになくご披露頂く場面です。終了後には懇親会を行います(自由参加)。懇親会にはこれまでの受講生にもご参加頂きます。新旧経済名探偵の集いとして、毎回、大いに盛り上がる会合となります。(浜 矩子記)

*2019年秋学期 テーマ「日本が再び高度経済成長化したら」も「もしもすべての日本企業において社外取締役の中に最低1つのAIを入れなければならないという時代がきたら」11月のアメリカ大統領選挙で、エリザベス・ウォーレンが大統領になったら」

○本講座は同志社大学大学院ビジネス研究科 浜教授の講義と同じスタイル、テーマで行います。

「イスラムは、なぜ西欧の敵にされたか？」



講師 内藤 正典
同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ研究科 教授

博士(社会学)1956年生まれ。1979年東京大学教養学部教養学卒業。1982年同大学院理学系研究科地理学専門課程博士課程中退。東京大学助手、一橋大学助教授、教授をへて2010年に新設の同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科に移籍。他に、ダマスカス大学(シリア)、アンカラ大学(トルコ)で客員研究員、社会科学高等研究院(フランス)、アバディーン大学(英国)、UNESCOの科学諮問委員を歴任。専門は、現代イスラム地域研究、ヨーロッパとイスラム世界の相関地域研究、多文化共生論。著書に『外国人労働者・移民・難民ってだれのこど?』(集英社/2019) 『となりのイスラム』(ミシマ社/2016) 『限界の現代史』(集英社/2018) 『ヨーロッパとイスラム』(岩波書店/2004) 『神の法vs.人の法』(共編著 日本評論社/2007) 『アッラーのヨーロッパ』(東京大学出版会/1996) 『イスラム世界の挫折と再生』(編著 明石書店/2014) 他多数

開催概要	定員: 100名
	回数: 全3回
	時間: 18:30～20:00
	資料: 講師より配布いたします。
	受講料: 9,000円 3回一括のみ

狙い 世界の分断はますます激しくなった。グローバルなスケールでの最大の分断は、西欧とイスラムとの間に出現した。イスラムにはキリスト教を敵とする発想はなく、ヨーロッパやアメリカにも多くのムスリムが移住した。その一方で、現在、西欧のイスラム嫌悪はかつてないほど高まっている。この講座では、イスラムとその信徒は、なぜ西欧の敵とされたのか?このまま分断を修復できないと、どういう危険が迫っているのかを3回にわたってお話していく。(内藤 正典記)

第1回 4/23 木
「中東の優等生トルコは、いかにして「敵」とされたか？」

1950年代からNATO加盟国、60年代にはEUの前身に加盟を申請してきたトルコは、現在、欧米諸国から激しい敵意を受ける国となった。イスラム世界でも有数の親西欧国家は、なぜ、敵にされたのか?

第2回 5/28 木
「ヨーロッパのイスラム嫌悪とは、どういうものか？」

世俗主義のイスラム嫌い、キリスト教からのイスラム嫌い。この二つの反感が、ヨーロッパ諸国のなかで暮らしているムスリムを追い詰め、近隣の中東との関係を悪化させていった。

第3回 6/25 木
「日本発、分断を修復へ導く鍵」

16億ともいわれるムスリムを疎外し、西欧世界とイスラム世界との間の分断をこれ以上深めるのはあまりに危険である。日本の知恵から、この分断を修復に導くことはできないのか。

「源氏物語 帚木・空蝉の巻を読む」

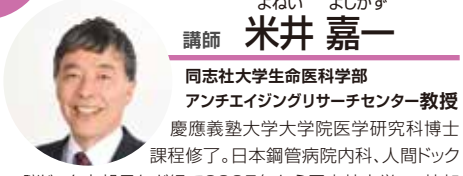
通年講座



講師 岩坪 健
同志社大学文学部 教授
文学博士 1957年京都市生まれ。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究-中世源氏学の流れ-」で文学博士。1989年「源氏物語の二段階伝授について-河内方と四辻善成-一条兼良をめぐって」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年「源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道」で第15回紫式部学術賞を受賞。著書:源氏物語といけばな(平凡社/2019) 『三玉挑事抄』注釈 (研究叢書)(和泉書院/2019)など他多数。

開催概要	定員: 100名
	回数: 全10回 <small>(2020年4月から2021年3月までの通年講座です)</small>
	開催日: 4/9, 5/14, 7/9, 8/20, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 1/14, 3/11
	時間: 14:00～15:30
	受講料: 30,000円 10回一括のみ
教材: 「大島本源氏物語 帚木・空蝉」増田繁夫(編)和泉書院 1,650円(税込み) <small>*教材はご自身でご用意ください。</small>	

「健康長寿の秘訣を科学する～最新研究レポート～」



講師 米井 嘉一
同志社大学生命医科学部
アンチエイジングリサーチセンター教授
慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了。日本鋼管病院内科、人間ドック脳ドック室部長など経て2005年から同志社大学へ。抗加齢医学研究の成果を世界に発信中。研究テーマは老化の危険因子と糖化ストレス。

第1回 5/21 木
「若さと健康を保つホルモン」

第2回 6/25 木
「糖化を防いで健康で美しく過ごす！」

第3回 7/16 木
「生体の抗酸化能から健康長寿を考える」

第4回 9/17 木
「病は気から、若さも気から」

狙い いくつになっても健康で生き生きと自立した生活ができる「健康長寿」は、どのような生活を送れば実現しやすいのでしょうか?糖化ストレスや酸化が及ぼす影響をご存じの方も増えてきました。この講座では、同志社大学生命医科学部の健康長寿にまつわる研究成果とそれらからわかってきた具体的な実践方法をお伝えします。

第1回 5/21 木
「若さと健康を保つホルモン」

第2回 6/25 木
「糖化を防いで健康で美しく過ごす！」

第3回 7/16 木
「生体の抗酸化能から健康長寿を考える」

第4回 9/17 木
「病は気から、若さも気から」

帚木・空蝉の巻の魅力

『源氏物語』第一帖 桐壺の巻は、光源氏が元服して結婚した12歳で終わります。第二帖 帚木(ははきぎ)の巻では光源氏は17歳になり、複数の女性と交際しています。けれども相手は、光源氏と同じ上流階級の女君ばかりです。帚木の巻の前半は有名な「雨夜の品定め」です。そこでは中流階級の女性と付き合っていた男性の体験談が、光源氏に披露されました。それまで貴族の娘しか知らなかった光源氏にとって、どの話も新鮮でした。しかも、大勢の女房達にかしずかれて、欠点も隠されている上流貴族の女君とは異なり、中流階級の女性は生き生きと語られ、光源氏は急に関心を持つようになりました。帚木の巻の後半と、それに続く空蝉の巻では、光源氏が初めて中流階級の女性と知り合うさまが描かれています。今回は二人の出会いから読み始めます。



これからの読みどころ

「雨夜の品定め」のあと、光源氏は「方違へ」(かたがえ)を利用して、家来の住居に移動します。そこで偶然出会った空蝉(うつせみ)という女性と深い仲になります。空蝉に夢中になった光源氏は再び会いに行きますが、今度は空振りでした。光源氏は初対面の女性をどのように口説き、空蝉は高貴な男性をどのようにして断ったのか。二人の駆け引きを読んでいきましょう。(岩坪 健記)

「冷泉家 端午の節句飾り」見学会

冷泉家は、祖先に藤原俊成・定家といった勅撰和歌集の選者に選ばれた歌人を持ち、代々和歌を家業とする「和歌の家」です。冷泉家住宅は、現存する唯一の公家住宅であり重要文化財に指定されています。冷泉家では、季節の年中行事は旧暦で行われており、端午の節句は5月下旬から6月です。床に2体の大将さん(武者人形)をお祀りし、その前に左右にいくさの陣構えを模して幟(のぼり)をハの字に並べるものです。お屋敷は通常は非公開ですが、公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫のご協力を得て見学させていただきます。

見学会概要
日時:6月18日(木) 受付13:00～ 講義13:20～13:50 冷泉家見学 14:00～15:00
定員:25名(残席僅か)
会場:受付～講義 同志社大学今出川キャンパス 徳照館 1階会議室
見学 冷泉家(同志社大学 徳照館から徒歩5分) 講師がご案内いたします。
費用:受講料5,000円 *交通費は含みません。*事前振り込み制です。

お申し込みとお支払い: 見学会のみのお申し込みが可能です。お申し込みをいただきましたら、振り込み依頼書をお送りします。期日までにお振込みがない場合は、受講いただけません。ご入金確認後、受講票をお送りします。

「赤ちゃん学入門講座 ～”人”のはじまりを科学で探る～」



赤ちゃん学は、いまだ解明されていない胎児から始まる成長・発達とその障害のメカニズムを研究する学問です。「人」の不思議を学びたいすべての方に新たな視座を提供します。

5月23日(土)

第1回
13:30~15:00

赤ちゃん学入門
～赤ちゃんの世界を探る～

講師 **板倉 昭二** いたくら しょうじ

赤ちゃん学とは、人のはじまりである赤ちゃんの運動・認知・感覚・言語および社会性の発達とその障害のメカニズムの解明から心の発達までを対象とする学問です。発達という連続する変化を総合的に、そして多面的な視点からとらえるため、これまでに進められてきた研究と今後の課題について、紹介いたします。

6月27日(土)

第3回
13:30~15:00

赤ちゃんの「食べる」

講師 **上野 有理** うえの あり

「食べる」には、他者とのやりとりを前提とするという人間の根源的な特徴がみえてきます。ミルクだけを口にしてきた赤ちゃんは、どのような過程を経て、さまざまな物を食べるようになるのでしょうか。そこに他者はどのように関わるのでしょうか。赤ちゃんの「食べる」の発達について、進化の視点を交えてお話しします。

7月18日(土)

第5回
13:30~15:00

赤ちゃんの「話す」

講師 **麦谷 綾子** むぎたに りょうこ

人間は生まれてからわずか数年のうちに、ことばを操るようになります。近年の研究の蓄積から、乳児期の音声言語発達過程の詳細なプロセスが明らかになるとともに、音声への高い感受性、周囲の大人のかかわり方の重要性も指摘されています。それらについて実証的な研究方法やその結果を交えながら解説していきます。

8月29日(土)

第7回
13:30~15:00

赤ちゃん「睡眠」

講師 **三池 輝久** みいけ てるひさ

日に日に新しいことを学習し続ける子どもの活発な脳活動は、エネルギーと神経伝達物質を大量に消費します。それらを補充し、エネルギー消費に伴う老廃物を洗い流し、脳細胞の働きを元気に保つのが「睡眠」の大きな役割です。心身の発達・健康を育む生活リズムを習慣化させるため、大人が子どもの睡眠を守らねばなりません。

9月26日(土)

第9回
13:30~15:00

進化に学ぶ子育て

講師 **竹下 秀子** たけした ひでこ

人間の赤ちゃんの心やからだは生物進化と社会文化の産物です。直立二足歩行や道具使用、ことばの獲得に加えて、社会性や共感の力、自己理解や協同の力、現在・過去・未来につながる「時間」とかかわる力が人間的な心の進化の核心だと理解されてきています。これらの特性を健やかに育む社会文化の重要な柱が「保育」です。

開催概要

回数: 全**10**回 土曜開催1日2コマ

定員: **100**名 時間: **13:30~15:00**
15:10~16:40

受講料: **30,000**円 10回一括のみ

資料: 当日講師より配布いたします
*法人での受講も可能です。

第2回
15:10~16:40

赤ちゃん「環境」

講師 **志村 洋子** しむら ようこ

音環境は見過ごされがちですが、赤ちゃんの聞こえや言語獲得、赤ちゃん自身の身体感覚に対して「騒音」や「振動」の影響は全く無いのでしょうか?赤ちゃんがみずから環境と関わって、日々遊び、探索できる保育空間になっているのでしょうか?赤ちゃんの育ちを支える「環境空間」の条件を幾つかの視点から考えます。

第4回
15:10~16:40

赤ちゃんの「見る」

講師 **山口 真美** やまぐち まさみ

赤ちゃんは、どんな風に世界を見ているのでしょうか。私たちの実験から、言葉を獲得する前に色カテゴリーや金色がわかることが解明されました。しかしながら赤ちゃんは、大人が当たり前のように感じている「恒常性」のない世界にいて、大人が気づかない、照明の変化に気づきます。赤ちゃん世界の不思議を解説します。

第6回
15:10~16:40

赤ちゃんの「学ぶ」

講師 **乙部 貴幸** おとべ たかゆき

大人は、赤ちゃんに多くのことを学ぶよう期待するものです。しかし赤ちゃんが何をどのように学ぶのかということについては、まだ科学的には明らかになっていないことの方が多いです。現在のところわかっている乳児期の学習の過程に関するトピックを取り上げ、赤ちゃんが学ぶことの意味を問いかけたいと思います。

第8回
15:10~16:40

赤ちゃんの「聞く」

講師 **藤井 進也** ふじい しんや

音を「聞く」脳の仕組みや音楽の脳に与える影響、言語や音楽の知覚、発達における聴覚の役割、音楽やリズムの役割などについてお話しします。赤ちゃんの「聞く」を知ることは、ヒトにとっての音楽の起源を知ることであります。「なぜヒトは音楽を手にしたのか」という大きな科学のミステリーに迫る面白さをお伝えします。

第10回
15:10~16:40

赤ちゃん「つながる」

講師 **遠藤 利彦** えんどう としひこ

近年、保育や幼児教育の領域において、とみに人の一生涯にわたる心身の健康や幸せの土台になるものとして、乳幼児期に培われる非認知的(社会情緒的)な心の力に注目が集まっています。その非認知的な心の力とは何なのか、その豊かな発達を支え促すものとして、とりわけ大切な役割を果たすのは何かについて考えます。

**赤ちゃん学入門講座
講師プロフィール**

第1回

板倉 昭二 いたくら しょうじ
同志社大学赤ちゃん学研究センター長/専任フェロー(教授)
京都大学名誉教授

京都大学大学院理学研究科壺長類学専攻 修了。専門は発達科学、進化発達心理学、Developmental Cybernetics。大分県立看護科学大学、京都大学大学院文学研究科教授などを経て2019年より現職。博士(理学)

第2回

志村 洋子 しむら ようこ
埼玉大学名誉教授 / 同志社大学赤ちゃん学研究センター 嘱託研究員

日本赤ちゃん学会常任理事。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。研究分野は乳幼児の歌唱音声の発達研究、乳児音声とマザーズ音声の音響分析的研究。保育室空間の音環境に関する研究。博士(教育学)

第3回

上野 有理 うえの あり
滋賀県立大学人間文化学部 教授

京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 博士課程を単位取得退学後、東京大学21世紀COE特任研究員、日本学術振興会特別研究員を経て滋賀県立大学人間文化学部に着任、2017年度より現職。博士(理学)

第4回

山口 真美 やまぐち まさみ
中央大学文学部心理学研究室 教授

お茶の水女子大学大学院人間発達学専攻修了後、ATR人間情報通信研究所・福島大学生涯学習教育研究センターを経て現職。日本顔学会、日本心理学会理事。新学術領域「顔・身体学」領域長。博士(人文科学)

第5回

麦谷 綾子 むぎたに りょうこ
日本女子大学人間社会学部心理学科 准教授

東京大学大学院医学系研究科修士課程および同大学大学院総合文化研究科博士課程修了。NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員を経て、現職。専門分野は音声言語発達。博士(学術)

第6回

乙部 貴幸 おとべ たかゆき
仁愛女子短期大学幼児教育学科 准教授

筑波大学大学院心理学研究科博士課程修了後、(独)科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業CREST研究員を経て、現職。専門は発達心理学。研究テーマは乳幼児の認知・脳機能の発達。博士(心理学)

第7回

三池 輝久 みいけ てるひさ
熊本大学名誉教授 / 小児科医(小児神経専門医)

日本眼育推進協議会理事長。熊本大学医学部附属病院院長、熊本大学大学院医学薬学研究部小児発達学分野教授等を務めたのち兵庫県立リハビリテーション中央病院子ども睡眠と発達医療センターを立ち上げた。医学博士

第8回

藤井 進也 ふじい しんや
慶應義塾大学環境情報学部 准教授

京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。専門は音楽神経科学。日本学術振興会特別研究員、海外特別研究員、京大大学院特任助教を経て慶應義塾大学専任講師、2019年より現職。博士(人間・環境学)

第9回

竹下 秀子 たけした ひでこ
追手門学院大学心理学部 教授

1982年から京都大学壺長類研究所共同利用研究員、1993年からオランダ、ベルギーの動物園で集団飼育のチンパンジーとボノボの比較研究に従事。滋賀県立大学人間文化学部教授を経て2017年より現職。博士(教育学)

第10回

遠藤 利彦 えんどう としひこ
東京大学大学院教育学研究科 教授

東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。京都大学教育学研究科准教授等を経て、現職。東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター長。専門は発達心理学・感情心理学。博士(心理学)

「ネイティブ感覚で話す・通じる英会話」

隔週 全**10**回

時間: **13:30~15:00**

簡単な一言を状況に応じて発話でき、会話のキャッチボールができるようになりたい。英語が好きなので会話のトレーニングをしたい。そんな方のための講座です。日常会話レベルの表現、フレーズを学びヒアリングと発音のトレーニングを繰り返すことで、自然な会話力をつけていきます。英会話レッスンが初めての方も大歓迎です。

90分の進行例

○ウォーミングアップ
宿題の発表 作成した会話を2人一組で行います。

○レッスン
フレーズの紹介～繰り返し発話練習、会話をグループで練習。

○ホームワークアサイン
提示するテーマやフレーズを使った会話を次回までに作っていただきます。

「英語ニュースで英会話」

隔週 全**10**回

時間: **15:30~17:00**

ラジオやTVの英語ニュースを題材に、感想やご自身の意見を交換する会話にチャレンジします。ニュースで流れる英語表現を聞き取る、感想や意見を発話する、をトレーニングします。海外から戻り使う機会が減ったが英会話力をキープしたい、話す機会を持ちたい、意見を言うようになりたい、そんな方にぴったりの講座です。*初めての方も大歓迎です。

90分の進行例

○ウォーミングアップ
ホームワークで作成した短い文章を一人一人発表します。

○レッスン
題材のニュースを聞き、タイトルからイメージしたことを言葉に。キーワードの語彙やフレーズを学ぶ。ディクテーションと発話練習。提示した「ニュース」をテーマに意見交換にチャレンジ。

○ホームワークアサイン

開催概要

回数: どちらも隔週**10**回 定員: どちらも**16**名

受講料: 各講座 **25,000**円 10回一括のみ

開講日:

第1回	5/12	火	第6回	7/21	火
第2回	5/26	火	第7回	8/18	火
第3回	6/9	火	第8回	8/25	火
第4回	6/23	火	第9回	9/8	火
第5回	7/7	火	第10回	9/29	火

時間: 13:30~「ネイティブ感覚で話す・通じる英会話」
15:30~「英語ニュースで英会話」

資料: 講師より配布いたします

前田 久美 まえだ くみ
講師
英語講師

愛知県出身。インターナショナルスクール高校課程卒業後、Boise State University(アメリカ アイダホ州)で Business Administrationを専攻。卒業後、日本の大手企業で英語力を生かし勤務。その後英語講師に。以来25年以上英語教育に携わる。大学、大手企業で英会話、TOEIC対策、ビジネス英会話などのクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導を行っている。

「昭和史を『歴史』の視点で語る - 2 -」



ほさか まさやす
講師 **保阪 正康**
ノンフィクション作家・評論家
日本近現代史研究者

1939年札幌市生まれ。1963年同志社大学文学部社会学科卒。1972年『死なう回事件』で作家デビュー。2004年個人誌『昭和史講座』の刊行をはじめ一連の昭和史研究により菊池寛賞受賞。『ナショナリズムの昭和』で第30回(2017年度)和辻哲郎文化賞を受賞。近現代史の実証的研究を続け、これまで約4000人の人々に聞き書き取材を行っている。立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。2017年4月からNHKラジオで「声でつづる昭和人物史」を放送中。

『陸軍省軍務局と日米開戦』『あの戦争は何だったのか』『昭和史の大河を往く』シリーズなど著書多数。近著『大本営発表という虚構』(ちくま文庫/2019)『昭和史七つの裏側』(PHP研究所/2019) 新・天皇論(毎日新聞出版/2019)

講座がわかりやすくなる参考書籍 保阪先生ご推薦
『 昭和史 1926－1945 』 著者：半藤一利(平凡社ライブラリー)
『 昭和史 戦後編 1945－1989 』 著者：半藤一利(平凡社ライブラリー)
『 それでも、日本人は「戦争」を選んだ 』 著者：加藤陽子(新潮文庫)
『 山中恒と読む修身教科書 戦時下の国体思想と現在 』 著者：山中恒(子どもの未来社)
『 令和を生きるための昭和史入門 』 著者：保阪正康(文春新書)
『 昭和史の急所 戦争・天皇・日本人 』 著者：保阪正康(朝日新書)

開催概要	
定員：	100名
回数：	全6回
開講日：	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18
時間：	13:30～15:00
受講料：	18,000円 6回一括のみ
資料：	当日配布いたします

定員	100名
回数	全6回
開講日	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18
時間	13:30～15:00
受講料	18,000円 6回一括のみ
資料	当日配布いたします

- 各講座に関する注意事項 -

- 各講座とも定員になり次第、受付を終了いたします。
- 受講料のお支払い　事前振込み制の講座以外は初回に受付でお支払いください。受付でのお支払いは現金のみです。開講後もしくは振込み後は受講料の払い戻しはいたしません。

- 事前振込み　開講決定次第、「振込み依頼書」を郵送いたします。指定日までにお振込みください。期日までに入金が確認できない場合は受講いただけません。ご入金後1週間を目安に「受講票」をお送りします。

- 開講のご案内　事前振込み制以外の講座は、開講決定後「受講票」をお送りします。受講票(ハガキ)は1講座1枚です。万が一、開講できない場合は初回の1週間前までにお申込みいただいた方にご連絡いたします。

- 受講時の注意事項　講義の録音、録画、講義中の写真撮影はご遠慮ください。録音は講師から許可があった場合のみ許可いたします。講義中は携帯電話の電源を切っていただくか、マナーモードにしてください。

定員	100名
回数	全6回
開講日	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18
時間	13:30～15:00
受講料	18,000円 6回一括のみ
資料	当日配布いたします

狙い	昭和という時代を同時代ではなく歴史の視点で見ていくシリーズの第2弾。今回は政治、社会、経済など各分野別に検証していくことにする。歴史の視点とは、近代史と現代史の交錯する昭和史をより重層的に見るということだ。この空間に凝縮している日本社会の実像を確かめることで、私たちは日本人の思考、言動を具体的に知ることになる。(保阪 正康記)
-----------	--

第1回 4/17 全	政治1 - 軍事主導体制と民主主義体制- 昭和には大別すると二つの政治体制があった。軍事を軸にする体制と民主主義の体制である。普通はこうした体制の入れ替えには革命などの荒療治が必要となる。日本はそれが「戦争・敗戦」という構図のもとで行なわれた。主体的意思とは言えなかったのだが、しかし動機はどうであれ日本は民主主義体制を守り抜いてきた。この体制を支えた国民の意識の底には、どのような歴史上の流れがあったのだろうか。私たちはそれを知る必要がある。
-----------------------------	--

第2回 5/15 全	政治2 - 臣民から市民へなり得たか- 近代史の終わりとしての昭和前期、そして現代史の出発点の昭和中期、昭和後期。国民を語る表現は天皇の赤子としての臣民であり、近代の自覚する市民的権利の実践者である市民と変化した。両者の間にはどのような違いがあるのか。あるいは両者の共通点とは何なのか、その点を改めて考えて見る必要がある。国家と個人との関係を捉え直してみれば、私たちの国の国民の自覚や知性が自ずから明らかになってくるように思う。
-----------------------------	--

第3回 6/19 全	経済 - 日本の財政政策、昭和史の光と影- 昭和史の財政政策は極めてわかりやすく進んだ。平時の軍事予算が戦時になると異常に膨らみ、民生への予算は削られた。軍事予算は国内の経済行動だけで回転していき、戦争は国家予算の限度枠での戦いとなった。平時の貿易は全く行われず、日本経済は次第に縮小していく形になった。戦時経済の異様さは真のエコノミストが育つ土壌が失われ、経済の本来の回転は全く失われた。昭和史の中に潜んでいる財政政策の初歩的誤りを確認する必要がある。
-----------------------------	---

第4回 7/17 全	産業 - 日本の企業と企業人- 昭和の日本企業はその初期には、製造業が一定の力を持った。しかし国策企業が民間企業を率いていく形は鉄鋼など一部を除いてほとんど形をつくらなかった。つまり日本の企業は民間企業が活性化することで産業界が好景気になっていくプロセスを見ていくと、国策企業の業績には多くの問題があるということになるのであろう。渋沢栄一などの企業人の心理を分析していくことで日本資本主義の特異性を見つめていくべきである。
-----------------------------	---

第5回 8/21 全	社会 - 事件と事象、そして災害- 一つの事件、事象がその社会を反映していることがある。例えば戦争に至るプロセスでは、必ず社会全体に暴力がはびこる。暴力への麻痺が進むのである(日本社会では2・26事件などがその例である)。昭和の二つの時代に私たちは、多くの事件、事象に出会っているが、そこに見えているのは何か。改めて問うて見ると意外なことに近現代日本の人心は、金銭を目的とした犯罪よりも人間関係のもつれの方が多いように思う。このことを考えて見たい。
-----------------------------	--

第6回 9/18 全	教育 - 制度と教科内容を見る- 教育制度は昭和にあっては二つの時代には全く異なっていた。戦前には進学するコースと職業訓練の道筋を行くものとの間に歴然と線が引かれていた。加えて教育は「富国強兵」と「産業立国」の手段としての意味を持った。現実に役に立つ実用主義と天皇を神と仰ぐ神話史観が両輪の役割を果たした。もともと日本は江戸時代から寺小屋教育が定着していたので、識字率も高く、教育風土は出来上がっていたのである。その分析を試みたい。
-----------------------------	--

定員	100名
回数	全6回
開講日	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18
時間	13:30～15:00
受講料	18,000円 6回一括のみ
資料	当日配布いたします

定員	100名
回数	全6回
開講日	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18
時間	13:30～15:00
受講料	18,000円 6回一括のみ
資料	当日配布いたします



なかむら 中村 うさぎ 小説家、エッセイスト	さとう まさる 佐藤 優 同志社大学神学部 客員教授 作家・元外務省主任分析官
-------------------------------------	---

1958年福岡県生まれ。同志社大学文学部英文学科卒。1991年にライトノベルでデビュー。「ゴクド〜くん漫遊記」で人気を博す。以後、エッセイストとして買い物依存症、ホストクラブ通い、美容整形、デリヘル勤務などの体験を書く。近著『脳はみんな病んでいる』(新潮社/2019)『ぼくは、かいぶつになりたくないのに』(日本評論社/2018)他多数。サンデー毎日 人生相談「うさぎとマツコの信じる者はダメされる」連載中。佐藤優氏との共著に『死を語る』(PHP文庫)『聖書を読む』(文春文庫)がある。

定員	100名
回数	全12回
受講料	24,000円 ※12回一括のみ ※初回日の受付でお支払いください。
開講日	第1・2回 4/8(水)、第3・4回 5/13(水)、第5・6回 6/10(水)、第7・8回 7/8(水)、第9・10回 8/19(水)、第11・12回 9/9(水)
時間	16:50～18:20 18:30～20:00 (途中10分の休憩あり)
教材	『城』カフカ・コレクション(白水uブックス)新書 白水社1650円(税込み)毎回持参のこと。ご自身でご用意ください。

開催概要	
定員：	100名
回数：	全12回
受講料：	24,000円 ※12回一括のみ ※初回日の受付でお支払いください。
開講日：	第1・2回 4/8(水)、第3・4回 5/13(水)、第5・6回 6/10(水)、第7・8回 7/8(水)、第9・10回 8/19(水)、第11・12回 9/9(水)
時間：	16:50～18:20 18:30～20:00 (途中10分の休憩あり)
教材：	『城』カフカ・コレクション(白水uブックス)新書 白水社1650円(税込み)毎回持参のこと。ご自身でご用意ください。
	2020年春学期 4月～9月までの12回分を募集します。(本講座は2020年秋季期10月～2011年3月まで予定しています。)

定員	100名
回数	全12回
受講料	24,000円 ※12回一括のみ ※初回日の受付でお支払いください。
開講日	第1・2回 4/8(水)、第3・4回 5/13(水)、第5・6回 6/10(水)、第7・8回 7/8(水)、第9・10回 8/19(水)、第11・12回 9/9(水)
時間	16:50～18:20 18:30～20:00 (途中10分の休憩あり)
教材	『城』カフカ・コレクション(白水uブックス)新書 白水社1650円(税込み)毎回持参のこと。ご自身でご用意ください。

- 休講・補講

1. 講師の都合および事故、台風、天災、交通機関ストライキ等によりやむを得ず休講する場合があります。
2. 休講および補講の連絡は、事前に決定した場合は講座会場で、欠席の方にはメール等でお伝えいたします。
3. 突然の天変地異や事故等により休講が当日決まった場合は、同志社大学HPに掲載し、メールもしくは電話にてお知らせします。
4. 休講した講義の補講は、日時が決まり次第メール等でお知らせします。

- 受講キャンセル、当日の欠席

1. お申込み後にキャンセルされる場合は、同志社大学東京オフィスまで電話、メールで連絡してください。
2. お支払い後にキャンセルされた場合、受講料の払い戻しはいたしません。
3. 講座を欠席された場合、後日その日に配布された資料をお渡ししますのでお申し出ください。
4. 事前の欠席連絡を要する講座につきましては、講座初回にご案内します。